

# 笠間佐白山周辺整備構想の計画立案と設計

中央技術(株) 設計部 総括技師長

岡崎 克美



## 1. 契約について

発注者：笠間市

期間：H18年度（初年度プロポーザル受注）、  
H19年度初年度プロポ：

提案は各社（5社）とも類似していた  
ようです。決め手は、地元業者である  
こと、現地をよく見て提案したこと、  
それに熱意と推測しています。

## 2. 市からの要請と弊社の提案

<要請> 笠間市は歴史・芸術・文化面の豊富な観光資源が広く分布しているにもかかわらず、正月・GW・秋の連休等に笠間稲荷や芸術の森公園に観光客が集中し、「見せる」ことが主体の「イベント型観光」になっています。今後は、年間を通じて観光客を誘客できる「通年型観光」への方向転換を目指し、笠間の歴史や文化を盛り込んで、学びや体験、そして心の安らぎや癒しを与える観光が求められています。

本業務は、上記笠間市の観光現状を踏まえ、特に歴史・文化性に富んだ佐白山麓公園を中心に拠点整備を実施するための調査及び整備計画・設計を実施することが要請されていました。

<提案> 佐白山周辺の資源を文献及び現地調査により把握、要請・課題を整理し、基本方針を立て計画立案、実施設計を検討しました。

笠間は、歴史と創造（工芸＝焼き物・御影石、美術＝絵画、文学、音楽）の街であり、これらをもとに芸術性・国際性を持ち、行政・作家・市民が協働でつくる構想をめざしました。

周辺のネットワーク構想から佐白山麓公園を中心的拠点と位置づけ、「歴史・自然と文化（美術・文学・音楽）の丘」公園構想を提案しました。

## 3. 検討フロー

1. 現況調査（資料収集、現地踏査）
2. 課題の整理
3. 基本方針の設定
4. 整備構想  
佐白山周辺ネットワーク構想  
山麓公園整備構想
5. 拠点地区整備計画、設計

## 4. 現況調査

・現場は最終までには、多分20回程度は足を運んでいると思います。

### 4.1 山麓公園周辺

- ・かつて城主下屋敷や鐘楼があった。
- ・各種記念碑・歌碑等が乱立している。
- ・大木や桜の木等があり自然資源豊かで、平地が広い。
- ・周辺には、日動美術館や大石邸跡がある



佐白山山麓公園



日動美術館



旧大石邸跡

#### 4.2 佐白山周辺（笠間城）

- ・ 天守跡、櫓跡、その他の郭跡等に山城の構造をよく残している。
- ・ 築城時の石材採取の跡が残り、見晴らし



天守跡



石倉（石の切り出し跡）



遊歩道（落石が樹木に衝突して止まっている）



照葉樹の大木

#### 4.3 つつじ公園周辺

- ・ つつじの花の時期には人々が大勢来訪する。
- ・ なだらかな山で、頂上や遊歩道からの眺

の良い箇所もある。

- ・ 城山は暖地性の樹木等が生き茂り、良好な生物生息域となっている。
- ・ ちょうど手ごろな散策路となっている。



つつじ公園からの眺望



坂本九ちゃん歌碑



坂尾の土塁



坂尾の門跡と不動尊の坂道

笠間市の佐白山を中心とする地域には色々な分野の資源が数多く分布しています。書ききれないほどです。一部分を紹介しました。これらの資源を生かして、何度も来たくなる観光地にしたいと思いました。歩いてまわるのにちょうど良い距離、

広さ、時間、感覚、ヒューマンスケールです。ショートカットも可能なコースです。

このような現況から次に示す、計画への課題そして方針を検討しました。

## 5. 課題から基本方針

・佐白山周辺の豊かな環境資源と、社会活動か

らの要請等を考え、課題を次のように設定しました。

### ①数多くの観光資源の有効活用

佐白山周辺には自然環境、歴史環境、文化・産業に関わる資源など数々の観光資源が分布し、これらを有意に有効に活用できる方法を検討する必要がある。



文化・産業、  
資源のネット化

### ②観光客一極集中、季節的集中を通年集客

笠間稲荷神社や笠間芸術の森公園、つつじ公園など集客できる施設はあるが、その場所だけ、イベントの時期だけとなっているので、他も含めて通年で集客できるシステムが必要である。



通年集客できる  
システムづくり

### ③集客の仕掛け

来訪客がもう一度来たいと思えるような、滞在時間を増やせるような仕掛けが必要である。楽しい（見る、参加できる）、美しい（景観、眺望、芸術）、おいしい（飲食、喫茶）、休める（休憩、湯）、癒し（のんびり、芸術）などが要求される。



仕掛け、  
PR、協働

### ④来訪客の多様化への対応

観光客、ハイカー、地元住民など、いろいろな種類の人々が、いろいろな目的で訪問してくるので、多様化への対応が要求される。

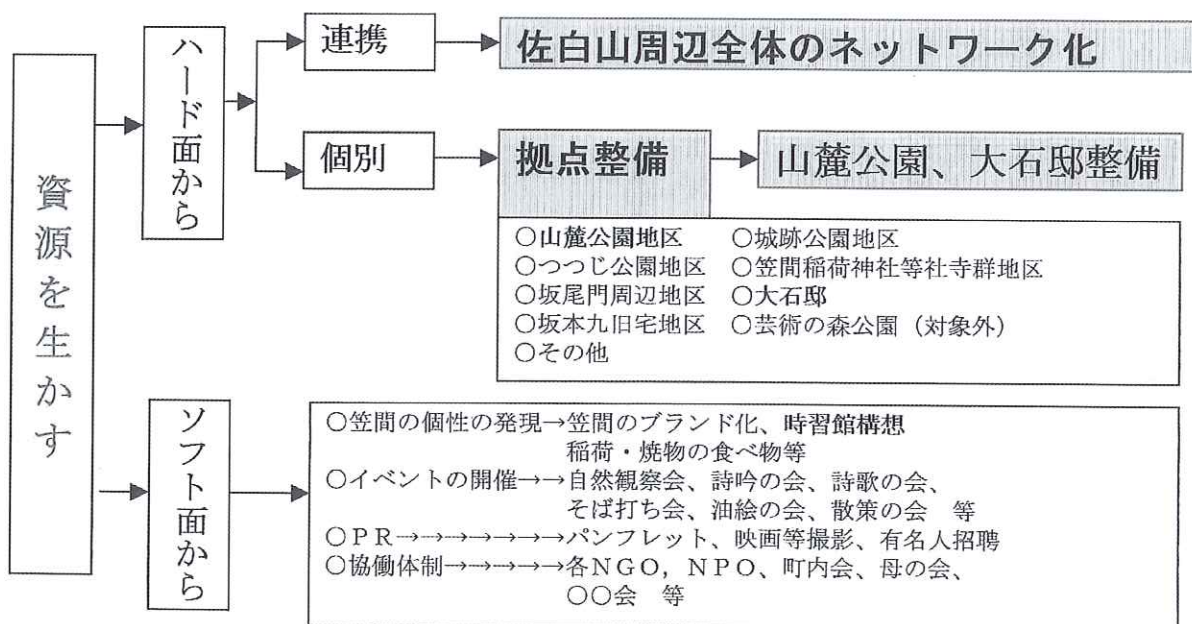


客層の多様化  
への対応

自然・歴史と創造をテーマに、地元産みかげ石や木材等を使い、豊かな個性、芸術性、国際性を持ち、市・作家・市民が共同でつくる

“笠間 歴史・自然と文化（芸術・文学・音楽）の丘”を目指す

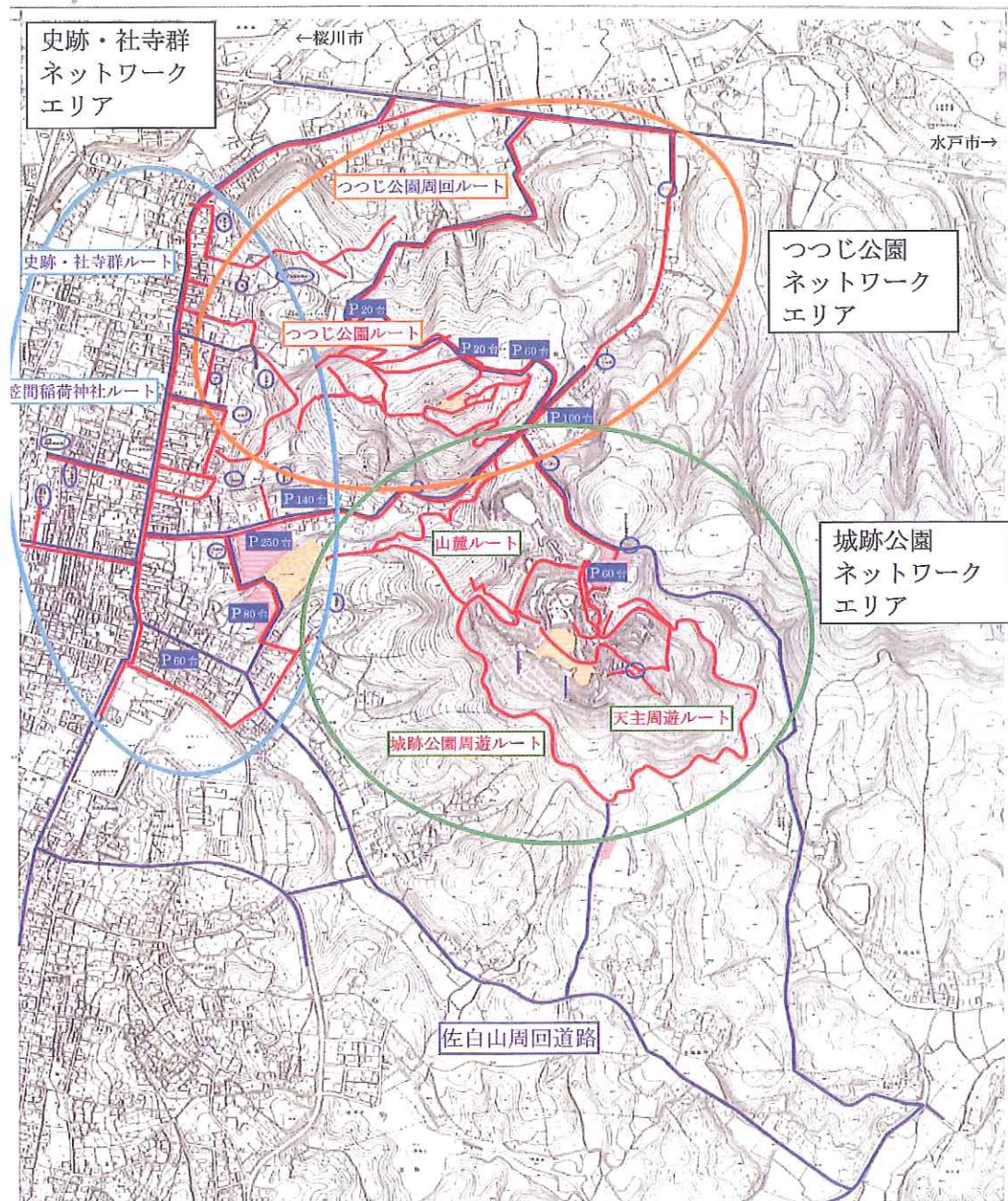
## 6. 具体的対応方針



## 7. ネットワーク構想（佐白山歴史回廊構想）

- ・南方の笠間芸術の森公園との連携を図りつつ、関東ふれあいの道等のルートや笠間城跡、つつじ公園等の構成物を活かし、遊歩のためのルートを設定しました。
- ・ルート内で眺望の利くビューポイントの整備を提案しました。

- ・ルート内で安全・安心・快適に利用するために、道路・歩道・手摺、駐車場、交通標識、観光案内標識等の整備を提案しました。
- ・山麓公園を中心に、城跡公園ネットワークエリア、つつじ公園ネットワークエリア、史跡・社寺群ネットワークエリアの3エリアを設定しました。

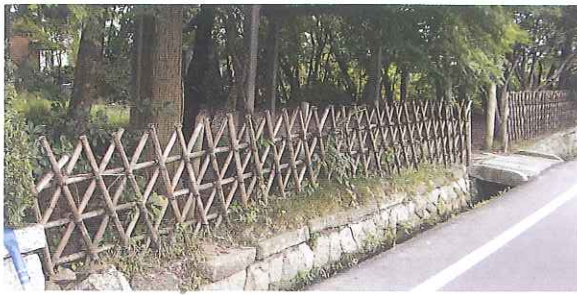


## 8. 拠点整備

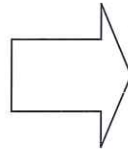
- ・ネットワークルート上の観光資源の中で特に集中的に整備すべき箇所について拠点整備地区として提案しました。
- ・城跡公園ネットワークエリアにおける整備
  - ・山麓公園、散策路・眺望点の整備、石垣等の補修、その他標識・案内板 等

- ・つつじ公園ネットワークエリアにおける整備
  - ・つつじ公園内ルートの整備、あじさい園の整備、弁天様、坂尾門跡、坂尾土塁、旧街道等の整備、その他標識・案内板 等
- ・史跡・社寺群ネットワークエリアにおける整備
  - ・大石邸跡、古建築物群、時習館跡、その他標識・案内板 等





旧大石邸前 整備前



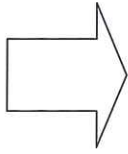
整備後

## 9.2 山麓公園内駐車場入口石積階段の設置

- ・ 駐車場への近道として、古いバックネットを撤去し階段を整備しました。



整備前



整備後

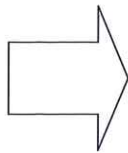
## 9.3 山麓公園擬木階段手摺の据

- ・ 駐車場から山麓公園に上がる階段には手

- 摺がなかったなので、安全のため擬木による手摺を設置しました。



整備前



整備後

## 9.4 その他の提案

- ・ 休息施設の設計も提案していますが、実施された時に紹介させていただきます。
- ・ その他数々の提案がありますが、またの機会に。

## 10. あとがき

- ・ 佐白山周辺には環境的にすばらしい資源が多く分布しております。少し手を加えるだけでみんなが何度も行ってみたいと思うようなものがつくれる場所です。
- ・ 歴史的な資源、文化的な資源、芸術的な資源、自然科学的・生態学的な資源がまだまだあります。
- ・ また提案できるチャンスがあればさらに頑張っってさらに良いものを提案・設計したいと思います。
- ・ ご紹介する機会を頂きありがとうございました。

## 略 歴：岡崎 克美

- 1952年 茨城県常陸太田市生まれ
- 1975年 東京教育大学理学部（現 筑波大学）卒業
- 1975年 日本テトラポッド株式会社（現 不動テトラ、総合研究所）入社  
この間に 株式会社エコー（河川関連）、財団法人リバーフロント整備センター出向
- 2004年 株式会社テトラ（現 不動テトラ、環境関連）退職
- 2004年 中央技術株式会社 入社 現在に至る

- 資 格：技術士（建設部門、河川、砂防及び海岸・海洋）  
RCCM（河川、砂防及び海岸・海洋）  
測量士、一級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士、環境再生医  
画像情報技能検定CG部門、マルチメディア部門3級  
理科・社会科高校・中学校教員免許